

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 11 月度理事会議事録

平成 22 年 11 月 17 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 42 クラブ(欠席クラブ無し)

池田協会長挨拶

- ・いよいよ年末ですね。皆さんお忙しい中ではありますがこれからの行事、また連盟年末総会に向けて時間が都合つく方は是非出席をお願いします。
- ・議事に入る前に、先日開催された、第 127 回秋季大会の成績発表（個人・団体）と表彰を行った。（PT 大阪サーフ）
- ・藤原副会長を議長として 19 時 20 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部 11 月連盟常任理事会報告（池田協会長）
（連盟議事録から転載）

日時：平成 22 年 11 月 10 日（水）16 時 03 分～18 時 15 分

場所：新大阪丸ビル新館 4 階 402 号会議室

■議題 1

SC 選手権大会(競技会・会計)報告 谷後大会プロジェクト責任者

- ・13 協会、2 友好団体から、114 名（実参加 106 名）のエントリーがありました。成績については配布しております成績表を参照願います。日本記録も出ておりますが、こちらについては SC 部からの報告になります。尚、プロジェクトの役目終了にあたり、事故もなく競技会ができましたことを最良のものとしてご報告いたします。

松井 SC 部長

- ・資料でお示しの通り、日本記録のご報告をいたします。二件とも従前の記録を更新しておりますので本会に於いてご承認願います。

※5 種目 A3 投平均 207.58m 兵庫協会、西宮天狗クラブ・船曳正義氏

※6 種目 3 投平均 222.76m 及び最長 230.65m 北海道協会、SC 抜投会・竹村 潤氏

谷後大会プロジェクト責任者

- ・会計報告をいたします。詳細は報告書にすべて記載しておりますので、参照願います。剰余金については本部会計に納金しております。

野村会計部長

- ・報告書の中で、レクリエーション保険料が一人 200 円と計上されておりますが、正確には 210 円です。

谷後プロジェクト責任者

- ・失礼しました。訂正いたします。不足額 10 円×106 名の計 1,060 円を保険料項目の金額にプラスした後、その額を剰余金から差し引いてください。

蔦広島協会長

- ・台湾竿遠投運動協會一行の来日に関する接待費の報告をいたします。今回は大会終了後に連盟会長在任地の愛媛を訪問したいとの意向により、大会を含めて 5 日間の長期となりました。したがって、仮払金の使い切りという状況になりました。担当者として儉約に努める思いでありましたが、相対してのことであり、難しい面もありました。次回は儉約に留意いたします。

出席理事

- ・お世話にあたる役員さんにはお仕事を返上されてのこと、大変にご苦労とは存じますが、会員減少の折から、この種経費には一層の儉約に心がけていただきたい。

岩田連盟会長

- ・接待費無制限などは論外のことだが、来日する人数や日数など先方の意向が大きく予算に影響を来す。この問題（接待費）は今後の交流に於いても同様である。この際、交流自体の是非も問うておきたい。
- ・また、接待費では随分と厳しいご意見もありましたが、余りのことでは次回からの接待役を躊躇する方ができることを懸念する。

池田議長

- ・台湾との交流継続について意思をお示し願います。（交流継続が多数である。但し、接待予算の枠作りは必要であるとの条件付）

大田事務局長

- ・台湾との交流が長い、菅原北海道協会長に接待予算のたたき台を考えていただいてはどうでしょうか。

池田議長

- ・菅原さんいかがですか。

菅原北海道協会長

- ・了解しました。たたき台を作成いたします。

宗貞監査役

- ・本会に先駆けて SC および台湾接待関連の領収書を精査し、金額面は全て適正に処理されていることを本会に於いてご報告いたします。尚、台湾接待関連の報告書は監査役三名の事前検分もおこなっております。

池田議長

- ・競技会成績・日本記録・会計報告の承認を求めます。（拍手多数により、承認いたします）

■議題 2

第 93 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 永松大分協会事務局長（井上協会長代理）

- ・会場別協会別参加一覧表を配布いたします。93 回大会は申請のあった 46 会場に 230 クラブ 1909(女性・少年 31)名の参加申込みがありました。尚、会場別参加申し込み数のベスト 3 は淡路島会場 191 名・境港会場 170 名・明石会場 81 名です。

岩田連盟会長

- ・現在、大会の副商品（釣具）は本部で手配している。この措置は PT さんには本来の作業に専念いただくためであるが、諸条件さえ満たしていただければ PT さんで、おこなっていただいても良いと思います。但し、お申し出が無い場合は従来通り本部でおこないます。

注・釣り場責任者の方は速報届けに明記されている通りで実行してください。また写真についても会報およびホームページ掲載のため、撮っておいてください。

■議題 3

継続審議事項

■仮称・大物第二ステージ としだ大物部長

- ・大物 300 号達成以後の申請について仮称「大物第二ステージ」を設けると決定している。その具体案として第二ステージの大物申請料は、300 円とし、申請毎のバッジ発行はおこないません。但し、50 号毎に楯またはメダル的なものを発行する。
- ・管理、運営上で、現行と同じ申請料としたが、期末に申請料×100 円を申請者に返還する。但し、退会者等については返還しないこととした。
- ・第二ステージの開始時期は、大物 300 号達成直後からとする。また、第二ステージ運用案の承認は平成 23 年度新年総会でおこなう。

渡部部会委員

- ・申請について問題とされる部分を説明したい。例えば 50cm のカレイを申請する場合、このカレイは第二ステージの D ランクになるのか？あるいはスーパーランクになるのか？などです。
- ・対策案として、これまでのスーパーランクを特別大物に併合しては如何かと思う。また、第二ステージ設置に伴い、大物システムの変更となれば多額（約 50 万円）の費用を要する。併合す

ればこの費用を抑えることにもなる。

- ・特別大物とスーパーランクを併合した場合、その分のバッジは新たに発行する。
- ・号数表示について大物システムを変更しなくて済むのは 1 号標記です。しかし、それでは現状と混同するのでシステム上は 1 号とするが運用上は 301 号とする。
- ・第二ステージは仮称であることから、相応しい名称があれば大物部まで、ご連絡いただきたい。

■改定事故防止規定 谷後事故防止部長

- ・前回の改定案ですが、今回指摘の部分に修正を施したものを配布いたします。再度本会でご意見を伺い、年末総会の承認を受け、来期から、正式採用としたい。

池田議長

- ・お手元の事故防止規定案から、お気づきの点があれば示してください。

伊東和歌山協会長

- ・渡船の部分にある「正規の渡船」を判断する基準はあるのか。

谷後事故防止部長

- ・遊漁船登録をしている業者と基準としている。尚、登録確認をおこなうには県によって違いがあるので一概なものではないが、まずは監督官庁に連絡してみてください。

渡部広報部長

- ・規定の中で、必ずと言う文言があるが、組織の性格上削除したほうが良いのでは。

池田議長

本会で指摘があった文言を修正して年末総会に諮ることで採決を求めます。(拍手多数により、採決いたします)

■北日本 SC 選手権大会 松井 SC 部長

- ・年初より、北海道協会が主催する「北海道オープン大会」を連盟公認の大会として認めてほしいとの要望があり、幾度と連盟会議で諮ってまいりましたが、大筋の決定はいただいておりますが、諸条件の下「北日本 SC 選手権」を記録公認の競技会として採決されることをお願いします。

※開催日程は連盟年間行事日程作業に於いて決定すること。

※主催は北海道協会とし、競技会の正式名称は「北日本 SC 選手権大会」とする。

※競技は、すべて全日本サーフキャスティングルールでおこなう。

※風向・風速の計測は複数協会の公認審判員を交えておこなう。

※用具等はすべて北海道協会の所有物を使用する。但し、計測器等は連盟に貸与を申し込むことができる。

※記録(日本記録・年間ベスト 10)の表彰は、全日本サーフの会員に限る。

※全日本サーフ会員 40 名(当初 50 名を本会で修正)以上の参加者を必要とする。

※連盟会長または連盟会長が指名する公認審判員の立会いが必要とする。

池田議長

- ・北日本 SC 選手権大会の開催要件を年末総会に諮ることで採決を求めます。(拍手多数により、採決いたします)

■議題 4

事務連絡 大田事務局長

- ・今期末に迎える連盟会長任期満了について規定にしたがい、10 月末を締め切りとして立候補者を募集していた。結果、岩田連盟会長以外に届けはありませんでした。

池田議長

- ・事務局長の報告に従い、常任理事会は岩田現連盟会長を次期連盟会長として推薦いたします。(拍手多数にて推薦を承認いたします)尚、連盟会長の承認は年末総会に於いて決定いたします。

岩田連盟会長

- ・引き続き、重職をお引き受けいたします。多くの難局がありますが、大いなる使命感と皆様のご協力によりまして、精一杯取り組む決意でございます。何とぞよろしくご協力申し上げます。

大田事務局長

- ・年末会議出欠確認のハガキについて、10 日現在で 9 協会が未提出です。締め切りは 11 月 15 日（月）ですが、期限超過は提出があっても無効になります。
- ・平成 23 年度新年総会の案内は、12 月早々に発送する段取りとしています。

宗貞事務局長

- ・平成 23 年度会員登録用の CD を配布いたします。入力後は定められた期日に従い事務局まで提出してください。

■議題 5

その他

松井 SC 部長

- ・SC レクリエーション保険ですが、会計部に納付される保険料と SC 部に届く成績表の実参加数に食い違いが多々あり、両部署で照合するのに大変手間取る。したがって来期から、協会加入は不要とし、すべて本部包括加入にする。これにより、開催協会には、成績表を元に保険料を記入した（実参加数×210 円）振込み用紙を SC 部から送ります。協会は用紙到着後 2 週間以内に会計部まで、お支払い願います。

注①成績表は大会終了後 2 週間以内に本部 SC 部に提出すること。

注②成績表未提出と保険料未納の場合は、成績（記録）は認めません。

帷企画部長

- ・平成 22 年度分のキス段位制の認定証は 23 年度の新年総会でお渡しする。したがって申請書を 12 月 5 日の年末総会または、期日同じで、メールその他の方法にて企画部まで提出してください。
- ・来期段位制対象競技会（メーカー主催）の日程を調べている。現時点では三社から回答が寄せられている。寄せられたものを一覧にして行事日程決定の参考資料にいたします。

塩田徳島協会長

- ・キス段位制度の進級に関して質問したい。規定では、余ったポイント点は級位内なら、繰り越しができるとなっている。一方、段位の昇格には繰り越しはできないとなっている。繰り越しが認められれば既に 5 段に匹敵する会員もいることから、会員の奮起を促す意味から、規定を見直してほしい。

帷企画部長

- ・段位制度が本格スタートして幾年も経ておらず、ここにきてようやく初段に達する会員が出る時期でもあります。スタートして間もない改定には、制度の権威から見ても、慎重を期したい。

池田議長

- ・段位制度に関して、質問またはご意見はありますか？

岩田連盟会長

- ・確かに競技会で高順位を獲得され、その結果に於いてポイントが活用されないことは、意欲の低下に繋がると主張される塩田協会長のお考えは、よく理解できます。一方で、制度立案者の企画部長の回答にも、共感いたします。したがって再考するのであればもう少し様子を見てからと言うことで、ご納得ください。

池田議長

- ・段位制の件は、暫く現行の制度で続けると言うことで、よろしいですか。（拍手多数により、現行の通りとする）

蔦資材部長

- ・全日本ステッカー（大）の在庫分が経年による劣化で販売に適さない。したがって本会に於いて、協会に無償配布する。（欠席協会には送付します）
- ・新たに樹脂加工を施したステッカーを制作したので、本会に於いて見本を配布する。尚、販売価格は赤・青とも 1 枚 300 円です。

注・樹脂加工のステッカーは連盟ホームページ「指定用品インフォメーション」のコーナーで、実物（写真）紹介しております。

野村会計部長

- ・連盟本部用パソコン（連盟会長使用）の購入代金領収書（写し）を配布いたします。尚、購入案件はすでに承認されております。

としだ大物部長

- ・日本記録魚二件の承認をお願いします。

※イトヨリ 53.0cm（実寸 50.5cm） 斉藤建一さん（岡山協会・岡山シースター所属）

釣り日 平成 22 年 10 月 3 日 釣り場 愛媛県宇和島市津島町

※マゴチ 77.6cm（実寸 74.1cm） 坂口浩之さん（大阪協会・なにわキャスターズ所属）

釣り日 平成 22 年 9 月 5 日 釣り場 徳島県鳴門市岡崎

池田議長

- ・日本記録魚の承認を求めます。（拍手多数により、二件とも承認いたします）

としだ大物部長

- ・日本記録の承認作業は常任理事会に限るのではないかとお尋ねがありましたが、そのような取り決めはされておりません。従来通り、記録申請が大物部に届いた後、直近の連盟会議に於いておこなうことを改めてご報告いたします。
- ・日本記録魚として承認された魚拓は、周年行事等に使用するため、劣化防止対策としてラミネート加工を施し、大物部で保管しております。その上で、天災・諸事故に堪えうる管理方法も検討したい。

注・日本記録承認の魚拓（写真）は議事録に掲載いたします。

第 2 号議案 第 127 回協会秋季大会成績発表について（PT：大阪サーフ）

- ・団体優勝は、滋賀投友会 283.8 cm（片岡・大宮・南）
2 位 北斗サーフ 265.1 cm
3 位 サーフ・スキッパーズ 240.5 cm
- ・団体優勝の滋賀投友会には、次年度の初釣り大会の PT を引き受けて頂く。

第 3 号議案 大阪・兵庫合同納竿大会について（事務局）

- ・本日、参加受付を行っている、以後の受付は行わないので必ず帰りまでに申込をしてほしい。
今回の PT は、大阪協会であるので、審査関係については、大物部で担当をお願いしたい。

第 4 号議案 連盟年末総会・新年総会について（池田協会長）

- ・年末総会での協会からの提案事項について説明があった。
 1. 会員拡充策として、本年度から実施している「新規入会ならびに復帰する会員は、初年度に限り連盟の年会費を免除し、大物図鑑を贈る。ただし、各人一回限りとする」の特例措置を継続してほしい。
 2. 連盟主催の釣り大会（全キス、全カレイ、クラブ対抗キス）で配布される参加バッチを廃止し、賞品や大会 PR などの費用に充ててもらいたい。
 3. 大物申請システムに異種枠表彰者（10、15、20、25 種）のリストアップ機能を追加していただきたい。
 4. 会員拡充策について、専門部会を設けて検討してほしい。

以上、4 項目を提案する旨報告があった。

第 5 号議案 協会行事開催当日の個人釣行について（池田協会長）

- ・先月も、話を行い採決では、個人釣行を認めるとの意見が多数を占めたが、どうしても行かれる場合は、最低限のルールを守っていただきたい。その時に釣られた大物については、所属クラブ会長の承認を取ってもらい提出することが必要。

第 6 号議案 協会大物トーナメントについて（湯浅大物事務局長）

- ・高槻サーフの吉田氏が、41 魚種を達成された旨報告があった。

- ・先月話をした大物トーナメントについて再度説明があった。
- ・最終（案）を 12 月理事会にて配布させて頂く。

その他

- ・広報部より、協会 HP の更新内容と写真の投稿について報告と依頼があった。

20 時 20 分閉会